

3 処理方法別典型7公害の直接処理件数

- 典型7公害の直接処理では、「発生源側に対する行政指導が中心」が64.2%、「原因の調査が中心」が21.6%

〈統計表第21表、第27表参照〉

典型7公害の直接処理件数（44,653件）を処理方法⁸別にみると、「発生源側に対する行政指導が中心」が28,646件（64.2%）、「当事者間の話し合いが中心」が855件（1.9%）、「申立人に対する説得が中心」が2,018件（4.5%）、「原因の調査が中心」が9,629件（21.6%）となっている。【図20、表11】

図20 処理方法別典型7公害の直接処理件数

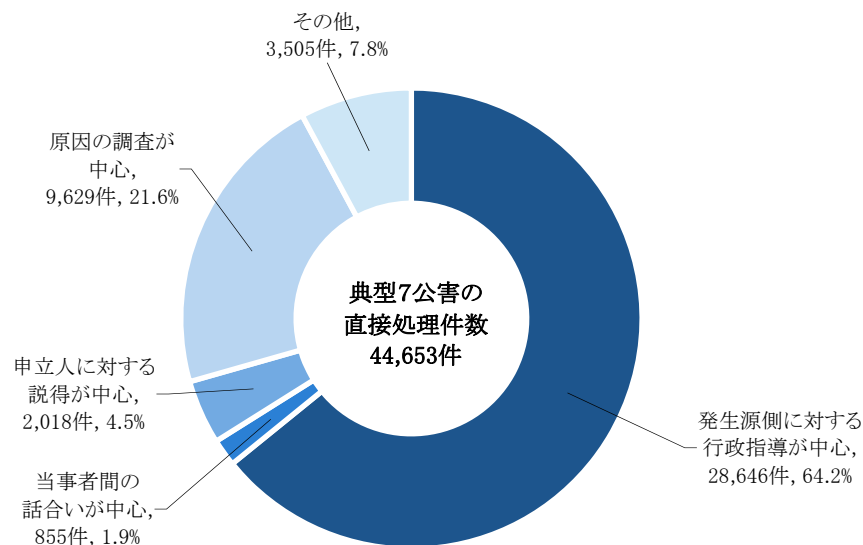


表11 処理方法別典型7公害の直接処理件数

(単位: 件)

公害の種類		合 計	発生源側に対する行政指導が中心	当事者間の話し合いが中心	申立人に対する説得が中心	原因の調査が中心	その他
直接処理件数	典型7公害	44,653	28,646	855	2,018	9,629	3,505
	大気汚染	12,102	9,298	95	348	1,667	694
	水質汚濁	4,100	1,456	52	111	2,019	462
	土壤汚染	153	46	5	10	39	53
	騒音	17,616	11,917	507	984	2,679	1,529
	低周波音	244	48	23	44	94	35
	振動	2,085	1,457	49	111	328	140
	地盤沈下	36	2	1	6	7	20
	悪臭	8,561	4,470	146	448	2,890	607
	典型7公害	100.0	64.2	1.9	4.5	21.6	7.8
構成比(%)	大気汚染	100.0	76.8	0.8	2.9	13.8	5.7
	水質汚濁	100.0	35.5	1.3	2.7	49.2	11.3
	土壤汚染	100.0	30.1	3.3	6.5	25.5	34.6
	騒音	100.0	67.6	2.9	5.6	15.2	8.7
	低周波音	100.0	19.7	9.4	18.0	38.5	14.3
	振動	100.0	69.9	2.4	5.3	15.7	6.7
	地盤沈下	100.0	5.6	2.8	16.7	19.4	55.6
	悪臭	100.0	52.2	1.7	5.2	33.8	7.1

8 処理方法の区分は、「発生源側に対する行政指導が中心」「当事者間の話し合いが中心」「申立人に対する説得が中心」「原因の調査が中心」及び「その他」の5種類